

□ ITF-7400コミュニケーションツール

取扱説明書

—第 3 版—

目次

1. 概要	1
1-1. 概要.....	1
1-2. 主な特徴.....	1
2. 使用方法	2
2-1. コミュニケーションツールのインストール.....	2
2-2. ツール起動.....	2
2-3. ITF-7400とPC間の通信設定.....	3
3. 設定方法	5
3-1. 本体設定.....	5
4. 設定ファイル選択/保存	10
4-1. 設定ファイルの選択.....	10
4-2. 設定ファイルの保存.....	12
5. 設定送信/設定受信	13
5-1. 設定送信.....	13
5-2. 設定受信.....	14
5-3. 受信内容.....	15
6. デフォルト設定	16
6-1. デフォルト設定.....	16
7. ツールの終了	17
7-1. ツールの終了.....	17

1. 概要

1-1. 概要

本仕様書は、ITF-7400に対してパソコン(以下PC)より各種設定を行うためのコミュニケーション・ツールについて記述したものです。

1-2. 主な特徴

本ツールの主な機能としては以下の通りです。

- (1) 本ツールにて各種設定を網羅します。
- (2) 本ツールにて各種設定ファイルの読出し／書込みが可能です。
- (3) 本ツールにてITF-7400への設定データ送信／ITF-7400からの設定データ受信が可能です。

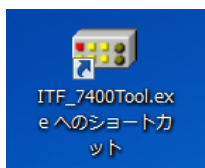
2. 使用方法

2-1. コミュニケーションツールのインストール

コミュニケーションツールのインストール方法は、「ITF-7400コミュニケーションツールインストールガイド」をご覧ください。

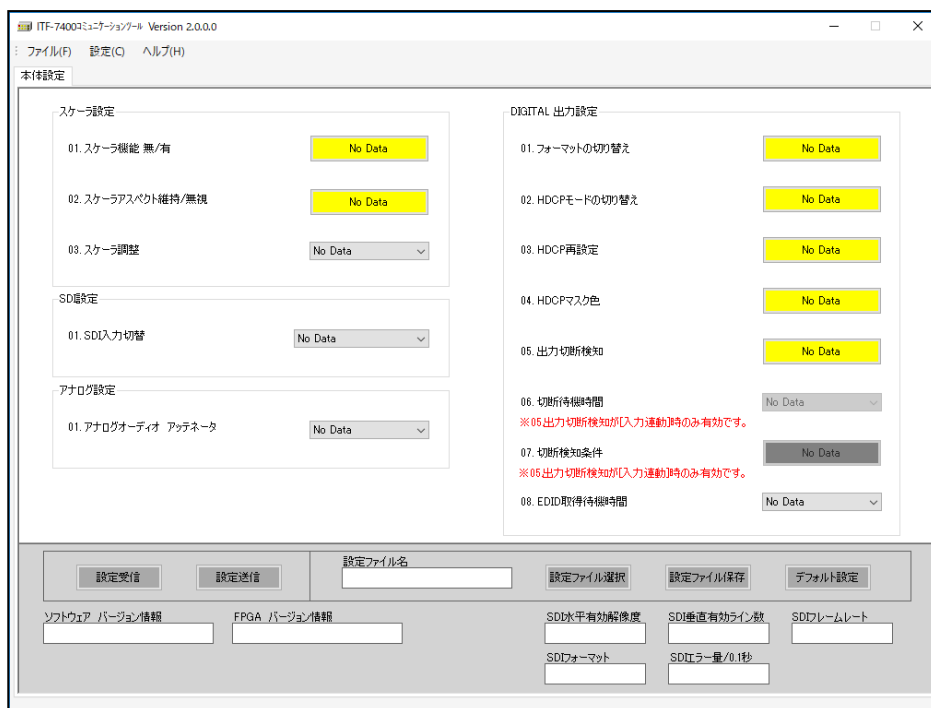
2-2. ツール起動

- (1) デスクトップ上のITF-7400コミュニケーションツールのショートカットをダブルクリックして本ツールを起動します。



- (2) 下記の様な起動画面が表示されます。設定項目は全て未設定で起動します。

ITF-7400コミュニケーション・ツール起動画面



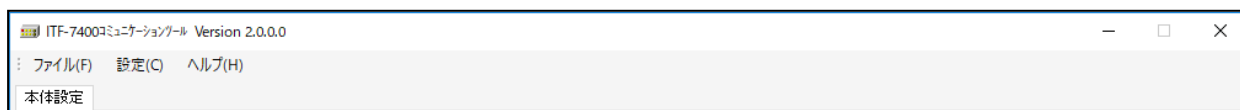
2. 使用方法

2-3. ITF-7400とPC間の通信設定

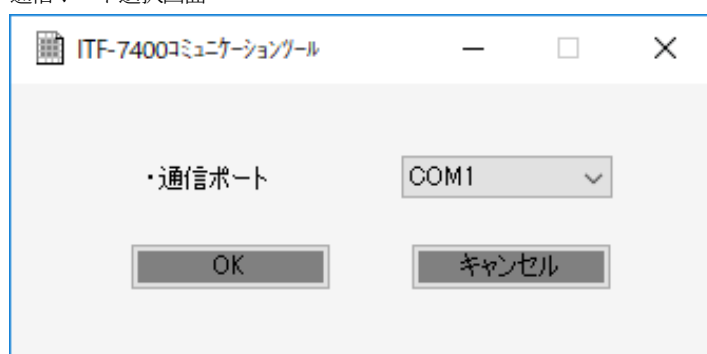
概要：

ITF-7400とコミュニケーションツール（PC）との通信方法を設定します。

(1) コミュニケーションツール上部の設定ボタンをクリックし、通信ポート選択画面を開きます。



通信ポート選択画面



(2) 通信ポート選択

[RS-232C通信]

通信ポート PC側のCOMポートを選択してください。

[COMポート確認例]

コントロールパネル→すべてのコントロール パネル項目→デバイスマネージャー→ポート(COMとLPT)
より確認できます。

2. 使用方法

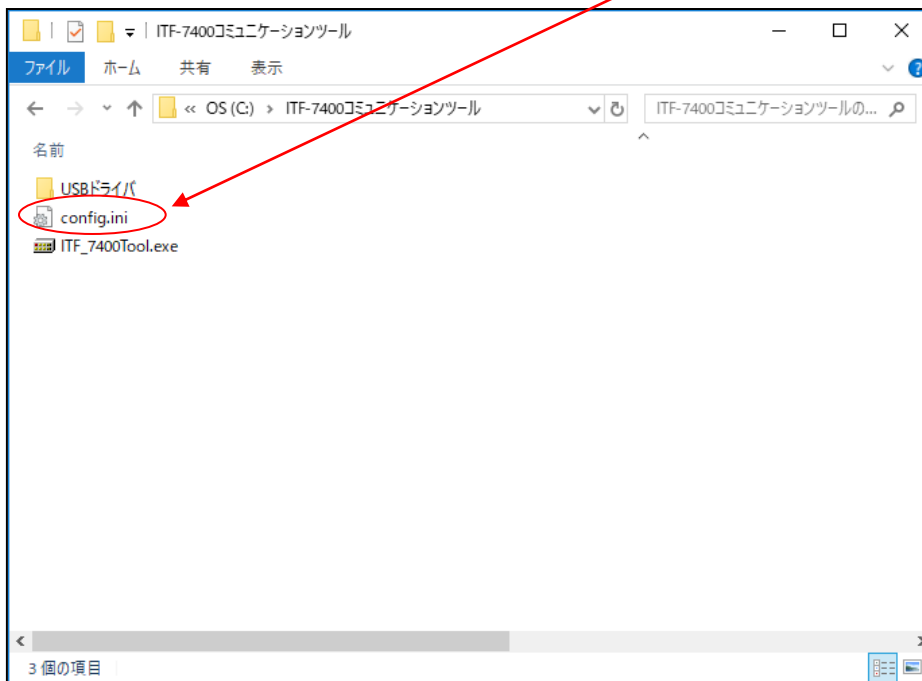
(3) 設定実行

[OK]

OKボタンをクリックすることにより、現在の設定で通信を開始することができます。
以降、コミュニケーションツール起動時に現在の設定を読み込みます。

OK

設定内容は「ITF-7400コミュニケーションツール」フォルダの「config.ini」に上書きされます。フォルダは、インストールの際に「C:¥」に作成されています。



3. 設定方法

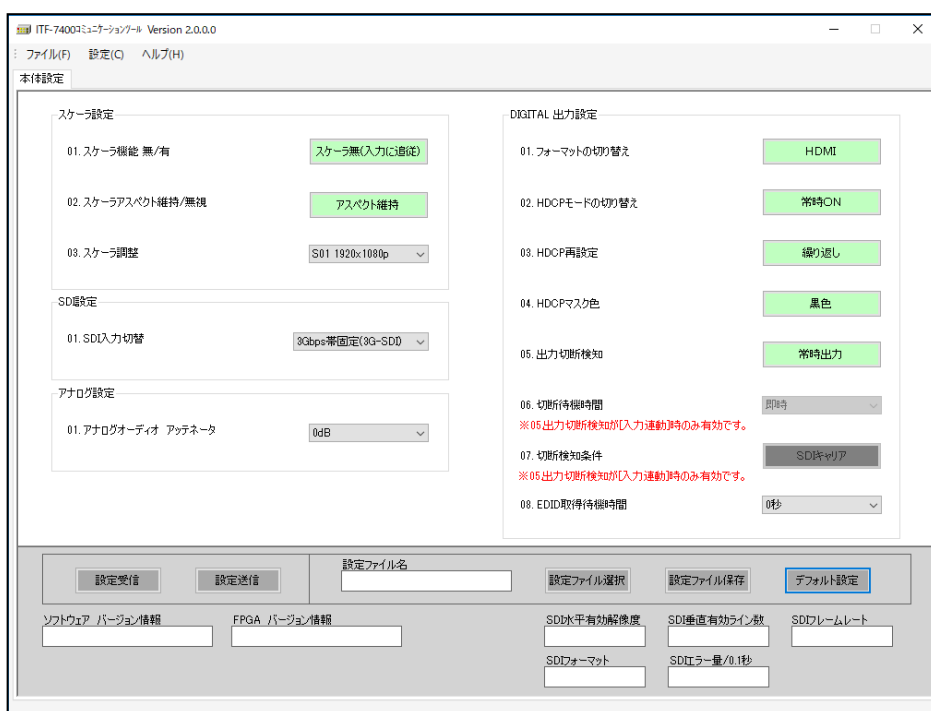
3-1. 本体設定

- (1) 画面内の各種設定項目を下記に従い選択していきます。
- (2) 設定方法

設定ボタンをクリックして該当する設定値を選択します。

尚、ボタンカラーは未設定値に関してはイエロー、デフォルト設定値はグリーン、それ以外に関しては、ピンクで表示されます。

本体設定画面



<スケーラ/入力設定>

[01. スケーラ機能 無/有]

スケーラ機能の有無の設定を行います。スケーラ機能を設定することで、入力映像信号よりも大きい解像度に変換して拡大表示、小さい解像度に変換して縮小表示することができます。

スケーラ無(入力に追従) : 入力したサイズで送信します。

スケーラ有(表示固定) : [03. スケーラ調整]で設定したサイズを送信します。

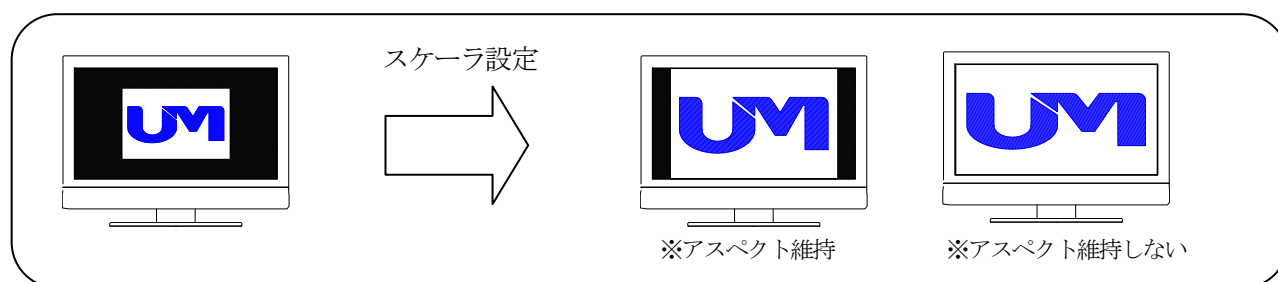
3. 設定方法

[02. スケーラアスペクト 維持/無視]

スケーラアスペクトの設定を行います。スケーラ機能が「スケーラ無」の場合、設定は無効になります。

アスペクト維持 :アスペクト比を維持したサイズ変更を行います。

アスペクト無視 :アスペクト比を無視したサイズ変更を行います。



[03. スケーラ調整]

スケーラサイズの設定を行います。スケーラ機能が「スケーラ無」の場合、設定は無効になります。

設定 :プルダウンから解像度を選択します。
選択可能な解像度は表1.を参照してください。

表1. スケーラサイズ解像度一覧表

UMG信号番号	解像度
S00	1920×1200p60Hz
S01	1920×1080p60Hz
S02	1680×1050p60Hz
S03	1600×1200p60Hz
S04	1600×900p60Hz
S05	1440×900p60Hz
S06	1400×1050p60Hz
S07	1366×768p60Hz
S08	1360×768p60Hz
S09	1280×1024p60Hz
S10	1280×960p60Hz
S11	1280×800p60Hz
S12	1280×768p60Hz
S13	1280×720p60Hz
S14	1024×768p60Hz
S15	800×600p60Hz
S16	720×480p60Hz
S17	640×480p60Hz
S25	1920×1080p30Hz
S27	1920×1080i60Hz

3. 設定方法

<SDI設定>

[01. SDI入力切替]

SDI入力信号の帯域を設定します。

3Gbps/1.5Gbps帯切替 : 同期信号をサーチし、3Gbps帯と1.5Gbps帯を切り替えます。

3Gbps帯固定(3G-SDI) : 3Gbps帯固定にします。。

1.5Gbps帯固定(HD-SDI) : 1.5Gbps帯固定にします。。

<アナログ設定>

[01. アナログオーディオアッテネータ]

アナログオーディオの出力レベルを設定できます。

0db, -6db, -12dbから選択できます。

3. 設定方法

<DIGITAL 出力設定>

[01. フォーマットの切り替え]

出力モードの設定を行います。

HDMI : HDMIフォーマットで出力します。

DVI : DVIフォーマットで出力します。

[02. HDCPモードの切り替え]

HDCPモードの設定を行います。

常時ON : HDCPは常時ONにします。

自動判別 : HDCPはSDI入力からの信号を判別して切り替わります。

[03. HDCP再設定]

HDCPの接続エラーが発生した時の動作設定を行います。

繰り返し : エラー発生時にDIGITAL OUTのHDCP設定を繰り返します。

マスク画面出力 : エラー発生時にDIGITAL OUTのHDCP設定を停止し、マスク画面を出力します。
マスクカラーは、[03. HDCPマスク色]から選択してください。

[04. HDCPマスク色]

[02. HDCP再設定]で「マスク画面出力」選択時に表示されるカラーを設定します。

黒色 : HDCPマスク時に表示されるカラーを黒色に設定します。

灰色 : HDCPマスク時に表示されるカラーを灰色に設定します。

[05. 出力切断検知]

DIGITAL VIDEO INから信号がなくなった時のDIGITAL VIDEO OUTの出力信号の切断設定を行います。

入力連動 : DIGITAL INに連動して切断します。

常時ON : DIGITAL INに入力がなくても切断しません。
※解像度は、1920×1080p, 60Hzで出力されます。

3. 設定方法

[06. 切断待機時間]

DIGITAL VIDEO INから信号がなくなった時のDIGITAL VIDEO OUTの出力信号切断時間の設定を行います。

※ [05. 出力切断検知] が[入力連動]時のみ有効です。

設定可能時間 :プルダウンから時間を選択します。
即時、30秒、60秒、120秒から選択できます。

[07. 切断待機条件]

DIGITAL VIDEO INから信号がなくなった時のDIGITAL VIDEO OUTの出力信号切断条件の設定を行います。

※ [05. 出力切断検知] が[入力連動]時のみ有効です。

SDIキャリア :SDI入力のキャリアが検出できない場合に切断します。

SDI周期信号 :SDI入力の同期信号が検出できない場合切断します。

[08. EDID取得待機時間]

ホットプラグ検出からEDIDの取得開始の時間を設定します。

設定可能時間 :プルダウンから時間を選択します。
0秒、1秒、2.5秒、5秒、7.5秒、10秒から選択できます。

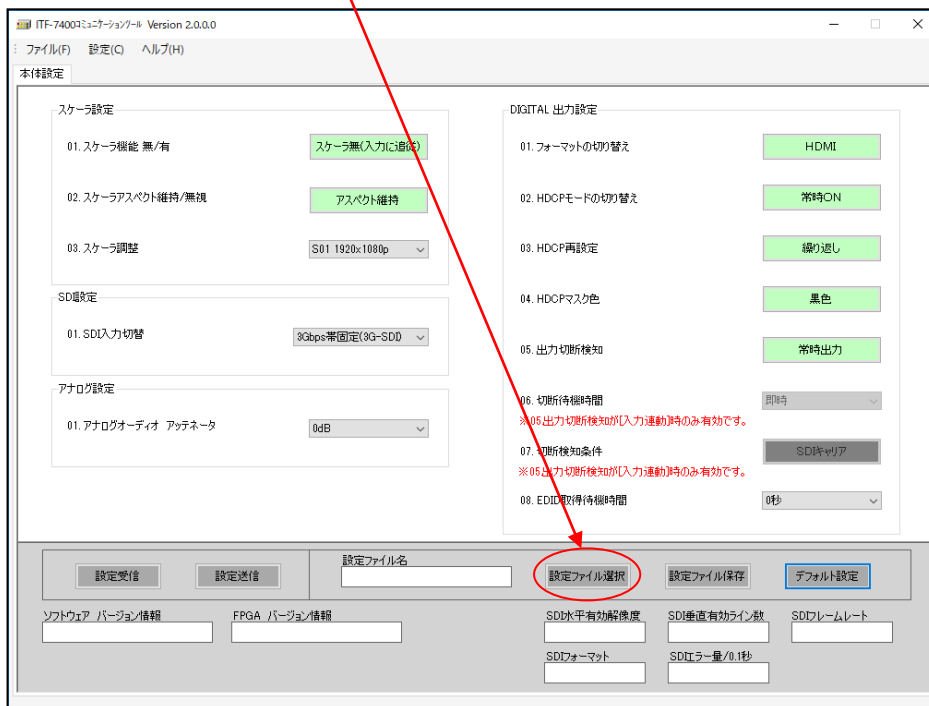
4. 設定ファイル選択/保存

4-1. 設定ファイルの選択

概要：

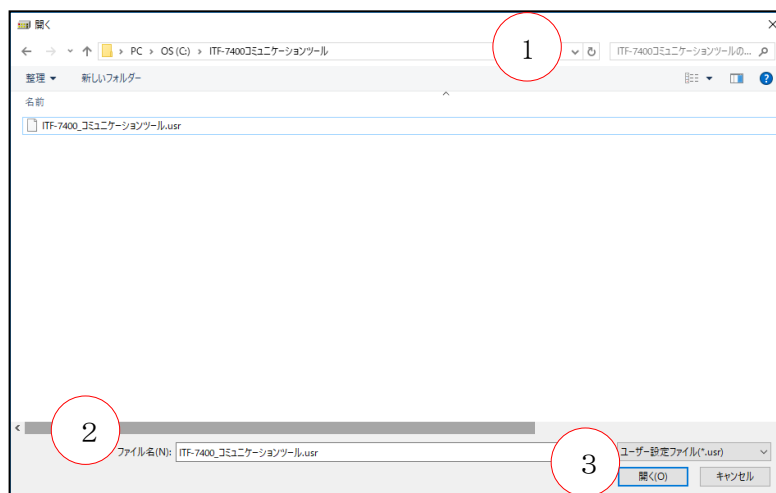
コミュニケーションツールの設定ファイルを読み込みます。

(1) 画面下の「設定ファイル選択」ボタンをクリックしてください。



(2) 「ファイルを開く」画面が表示されますので、

- ① 「ファイルの場所」で、該当のフォルダを選択して、
- ② ファイル名で、拡張子が「usr」ファイルを選択してください。
- ③ 「開く」ボタンをクリックしてください。

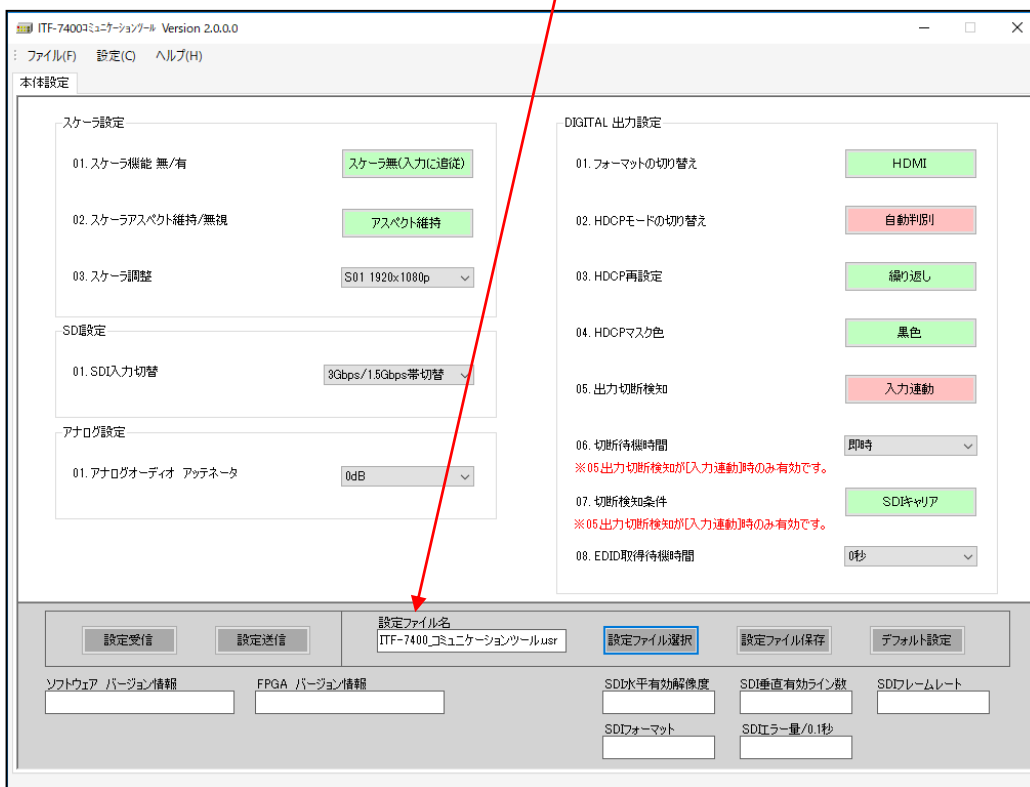


(3) その後ファイルの読み込み結果のメッセージが表示されます。

「ファイルの読み込みに失敗」メッセージが表示された場合は、ファイルを確認してください。

4. 設定ファイル選択/保存

(4) ファイル読み込みに成功すると、画面下の「ファイル名」に読み込んだファイル名が表示されます。



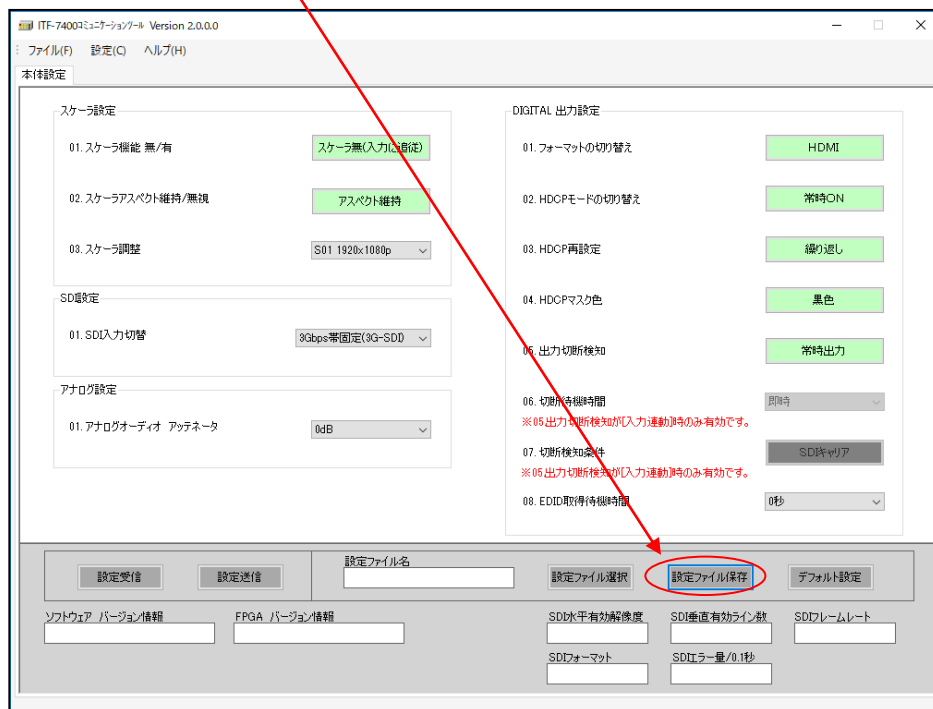
4. 設定ファイル選択/保存

4-2. 設定ファイルの保存

概要：

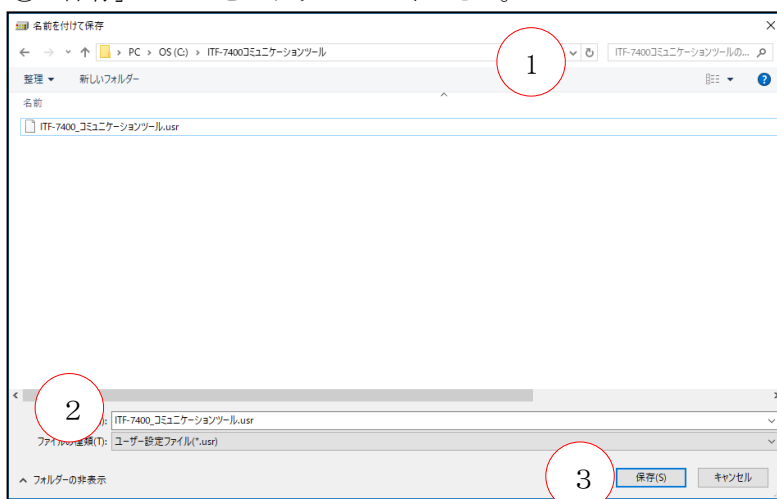
コミュニケーションツールで設定した内容をファイルへ保存します。

(1) 画面下の「設定ファイル保存」ボタンをクリックしてください。(未設定の項目がある場合は、保存できません)



(2) 「名前を付けて保存」画面が表示されますので、

- ① 「保存する場所」で、保存したいフォルダを選択して、
- ② ファイル名で、ファイル名を入力してください。拡張子usrは自動で付加されます。
- ③ 「保存」ボタンをクリックしてください。



(3) その後、ファイルが既に存在する場合は上書きを確認するメッセージ、ファイルが存在しない場合はファイルを新しく作成するメッセージが表示されます。それぞれ「はい」ボタンをクリックすればファイルが作成され、「ファイルの書き込みに成功」のメッセージが表示されます。

5. 設定送信/設定受信

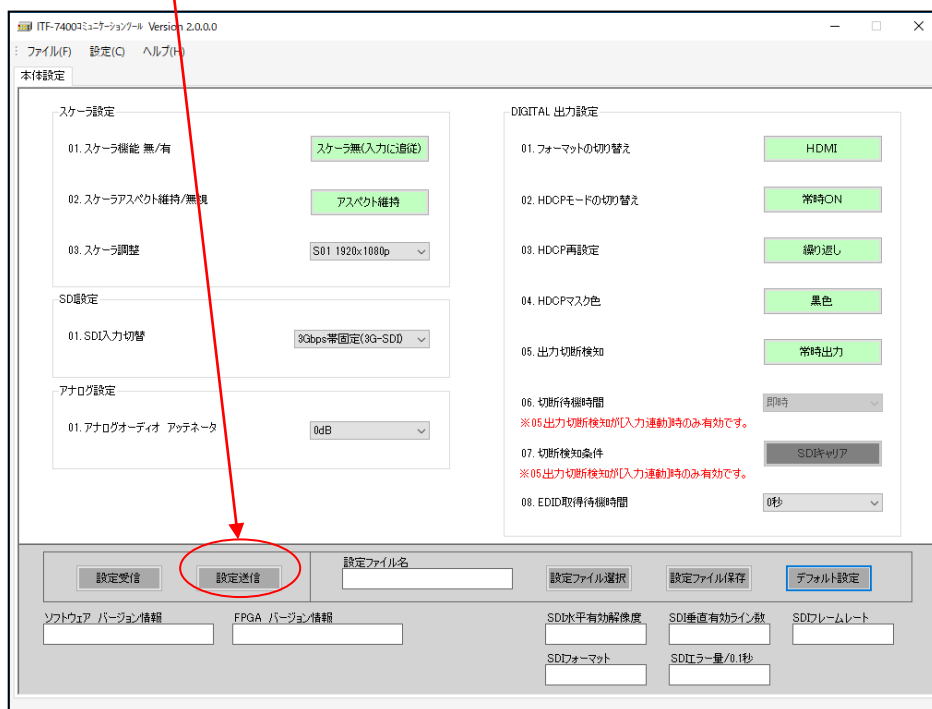
5-1. 設定送信

概要：

コミュニケーションツールで設定した内容をITF-7400へ送信します。

(1) 「設定送信」ボタンをクリックしてください。(未設定の項目がある場合は、送信できません)

※設定送信を行うには、ITF-7400をパワーオン状態にしてください。



(2) 確認のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

(3) 設定送信に成功するとメッセージが表示されます。

通信エラーのメッセージが表示された場合は、

ITF-7400とPC間の接続やコミュニケーションツールの通信設定を確認してください。

5. 設定送信/設定受信

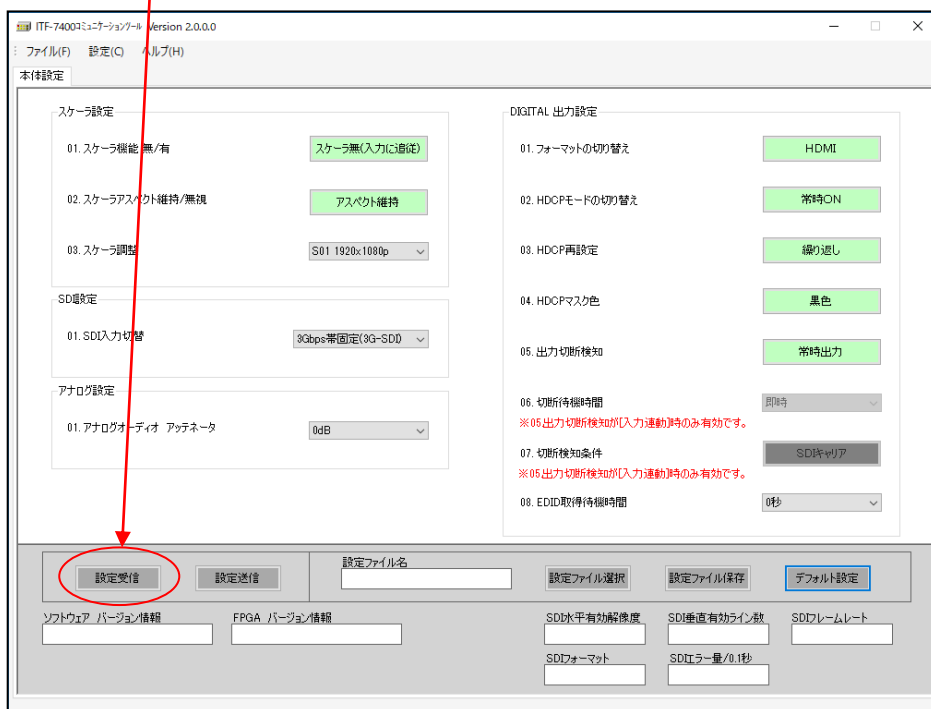
5-2. 設定受信

概要：

ITF-7400の設定内容をコミュニケーションツールへ受信します。

(1)各「設定受信」ボタンをクリックしてください。

※設定受信を行うには、ITF-7400をパワーオン状態にしてください。



(2) 確認のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

(3) 設定受信に成功するとメッセージが表示されます。

通信エラーのメッセージが表示された場合は、

ITF-7400とPC間の接続やコミュニケーションツールの通信設定を確認してください。

5. 設定送信/設定受信

5-3. 受信内容

概要：

設定受信を行うと、ITF-7400の設定内容の他に受信時の情報をコミュニケーションツール下部に表示します。

①：ITF-7400のソフトウェアバージョンを表示します。

②：ITF-7400のFPGAバージョンを表示します。

③：現在の入力解像度を表示します。

例:1920×1200

例:1366×768

④：現在のフレームレート値を表示します。（小数第2まで表示）

⑤：現在の入力フォーマットを表示します。

※「入力信号なし」の場合は入力ソースがない、またはケーブルの接続状態を確認してください。

⑥：SDIの入力エラー量を取得します。（小数第2まで表示）

6. デフォルト設定

6-1. デフォルト設定

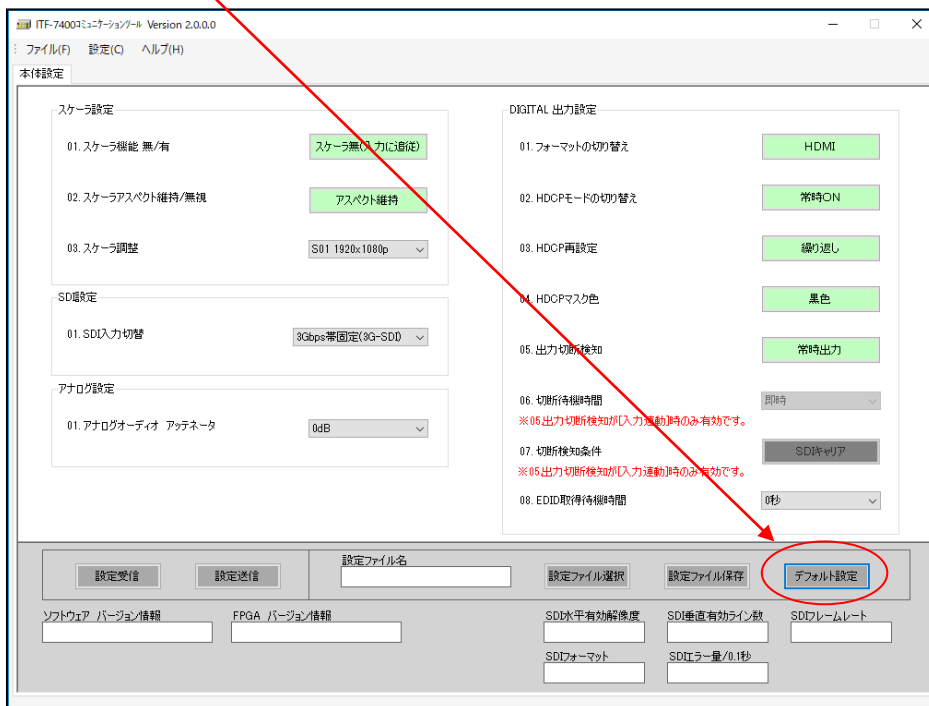
概要：

コミュニケーションツールで設定した内容をデフォルトの値に戻す設定です。

※ 一度デフォルト設定を行うと、設定した内容は失われてしまいます。

※ 設定送信を行うまでITF-7400へは反映されません。

(1)各「デフォルト設定」ボタンをクリックしてください。



(2) 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

(3) デフォルト時の状態に戻ります。

7. ツールの終了

7-1. ツールの終了

概要：

コミュニケーションツールの終了の方法です。

- (1) 本ツールを終了する場合は、画面右上の☒ボタンをクリックするか、画面左上の[ファイル] → [終了] ボタンをクリックします。



- (2) 下記メッセージが表示されるので「はい」をクリックして、コミュニケーションツールを終了してください。

